

第1回 再生医療抗加齢学会 学術総会

お申し込みはコチラ



再生医療抗加齢学会
オフィシャルサイト

学会員募集中

「イマ」と「未来」の
「再生医療」の

第1回再生医療抗加齢学会 学術総会
Annual Meeting of Society Anti-Aging Regenerative Medicine
Saturday, April-13, 2024

プログラム デジタル抄録集

会期 2024年4月13日 土曜日
大会長 森下竜一（一般社団法人 再生医療抗加齢学会 理事長）

第 1 回再生医療抗加齢学会 学術総会

Annual Meeting of Society Anti-Aging Regenerative Medicine

Saturday, April-13, 2024

再生医療の「イマ」と「未来」

2024 年 4 月 13 日 土曜日

AP 日本橋

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-6-2 日本橋フロント 6F

第1回再生医療抗加齢学会 学術総会
Annual Meeting of Society Anti-Aging Regenerative Medicine

主催
一般社団法人 再生医療抗加齢学会

大会長
森下 竜一（一般社団法人 再生医療抗加齢学会 理事長）

実行委員会（順不同）
富士 展寛
香月 鷹昇
太田 祥江

大会運営事務局

再生医療抗加齢学会
富士 展寛
〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名2丁目6-39 ジラソーレ 5F
[TEL:092-406-7330](tel:092-406-7330)
FAX:050-3174-9737
E-Mail:info@remed-aa.com

大会長挨拶

再生医療の安全で現実的な発展と、新たな未来に向けて再生医療抗加齢学会が設立されました。

平成 26 年 11 月 25 日に、再生医療等に用いられる再生医療等技術の安全性の確保及び生命倫理への配慮を定めた法律として「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」が世界に先駆けて施行されましたが、臨床現場においては「再生医療の安全性の確保等に関する法律」の範疇外となる治療が数多く行われており、浸透されていないといった課題点も数多く存在します。特段、培養上清やエクソソームなどに関しては法的規制が現状ではないため、品質管理・安全性、その有効性について十分な検証がおこなわれないまま、実施されているのが実情です。

本学会では、抗加齢医学という観点から、再生医療のさまざまな検証、再生医療従事者の教育、育成、不特定多数の市民へ向けた普及啓発を目的として情報発信、啓蒙を目的として活動を推進して参りますが、このたび 2024 年 4 月 13 日（土）AP 日本橋（〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-6-2 日本橋フロント 6 階）にて、記念すべき第 1 回再生医療抗加齢学会学術総会を現地および Online のハイブリッドにて開催する次となりました。

今大会のテーマは【再生医療の「イマ」と「未来」】とさせて頂きました。再生に関連するスペシャリストの先生をお呼びして鋭い視点から、再生医療を追求するためシンポジウム、各種セミナーを予定しております。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。



2024 年 3 月吉日
第 1 回再生医療抗加齢学会 大会長
森下 竜一

再生医療抗加齢学会 セミナー、シンポジウム開催地 日程

No.	タイトル	開催地	開催日
1	AARM 主催セミナー 第1回再生医療抗加齢学会 学術セミナー (会場：MEETING SPACE AP 大阪駅前)	大阪	2023年5月14日
2	AARM 主催シンポジウム 再生医療抗加齢シンポジウム IN 東京 (会場：品川アネックス)	東京	2023年10月5日

会場アクセス

AP 日本橋

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-6-2 日本橋フロント 6F

ACCESS / APH本橋

ご予約・お問い合わせは

TEL.03-3273-3109 9:30~18:00
 (日・祝日はお電話ができません)
 FAX.03-3273-4109 E-mail:info-nihonbashi@tc-forum.co.jp



〒103-0027
 東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント 6F

- 東京メトロ銀座線「日本橋駅」B1出口より徒歩2分
- JR「東京駅」八重洲中央口より徒歩5分



3-6-2 Nihombashi, Chuo-ku, Tokyo 103-0027
 Nihombashi Front bldg. 6F

- 2 minutes walk from Exit B1 of Nihombashi Station
- 5 minutes walk from Tokyo Station



会場案内図

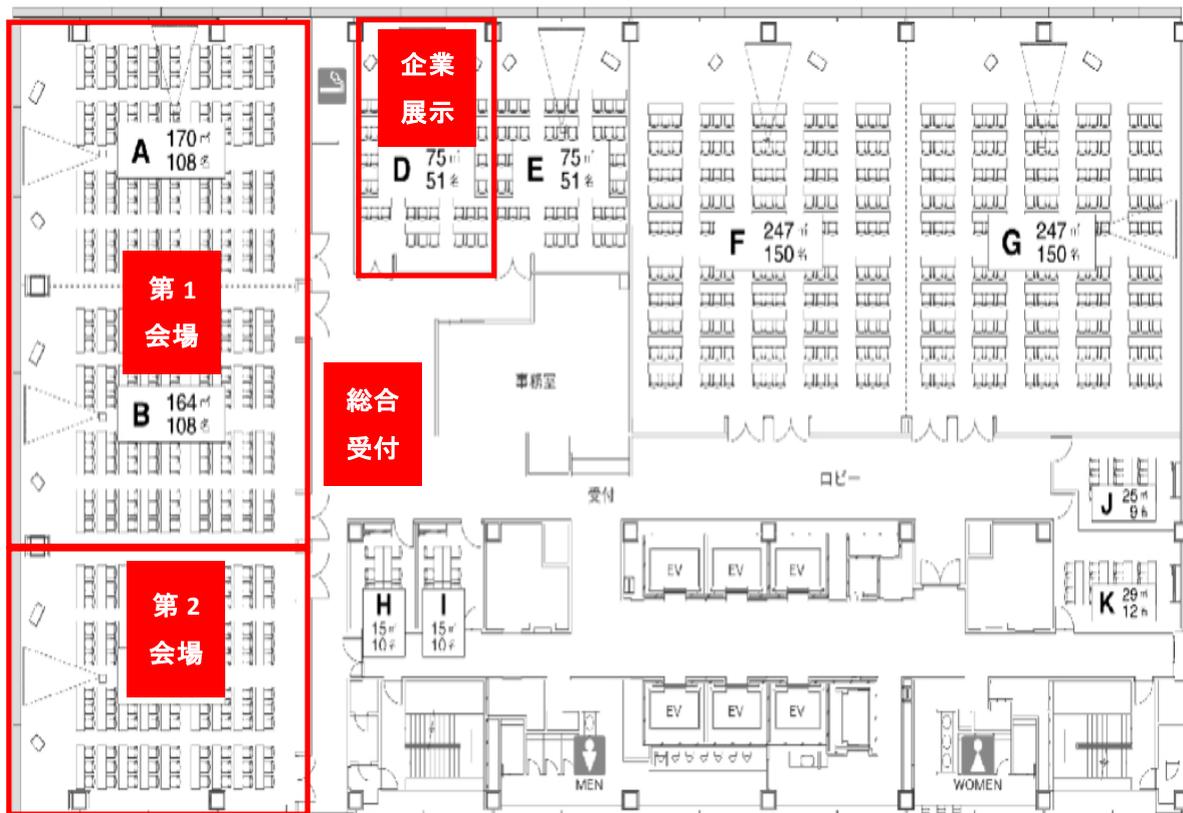
第1会場：A+B ルーム

第2会場：C ルーム

企業展示ブース：D ルーム

控室：H ルーム

総合受付は、第1会場前方付近に設営いたします。



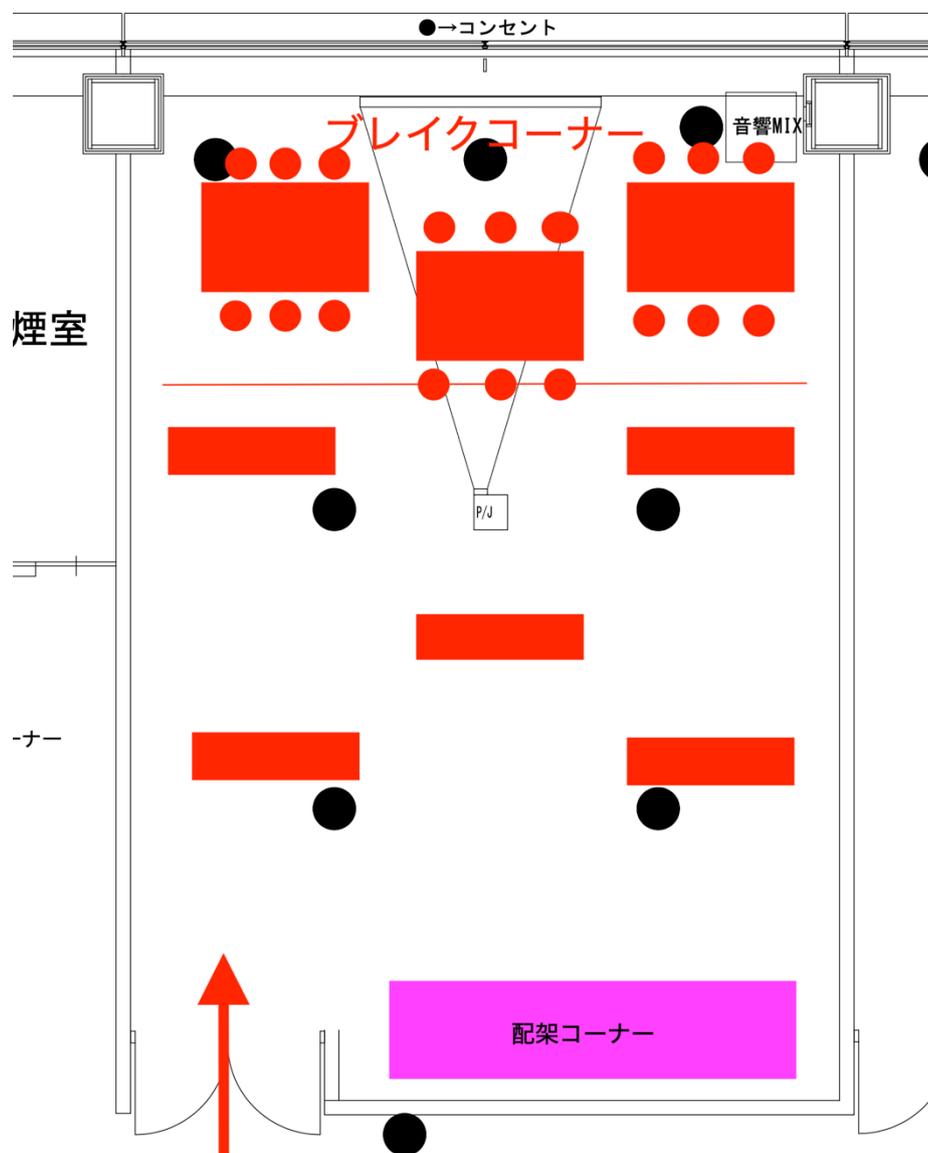
展示ブースについて

参加企業

- 1) 株式会社 AS メディカルサポート
- 2) 一般社団法人 再生医療安全推進機構
- 3) 一般社団法人 再生医療福祉支援基金
- 4) NMEC Properties LLC

参考：配置図（当日、若干の変更の可能性がございます。）

会議室 D (75.33m²)



展示ガイド

展示仕様

基礎小間 1 小間あたり

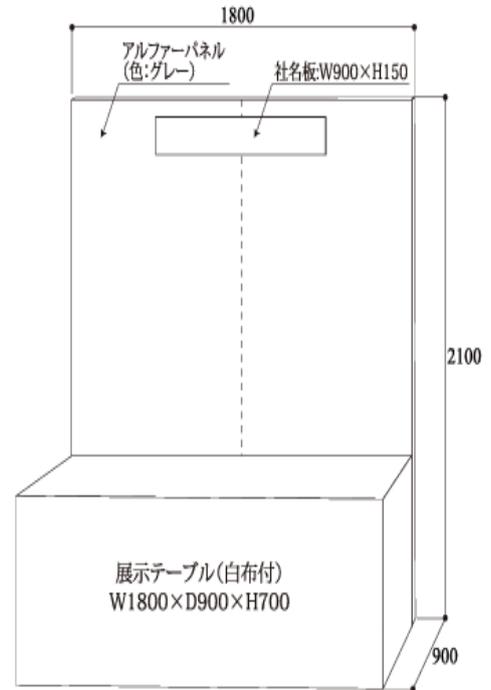
サイズ：

間口 1.800mm × 奥行 900mm × 高さ 2.400mm

基礎小間に含まれるものは以下のとおりです。

- ① バックパネル(W1.800mm × H2.100mm)
- ② 社名版(W900mm × H150mm スミ 1 色)
- ③ 展示机(W1.500mm × D900mm × H700mm)
※展示机は1つです。
- ④ 椅子 2脚

※蛍光灯や電気配線工事・追加備品などは有料(出展企業様負担)となります。



搬出、搬入のご案内

※事前に立ち入られる方の申請が必要です。

- ・ 搬入出それぞれの時間：搬入・搬出
- ・ 搬入出現場担当者氏名：
- ・ 現場担当者携帯番号：
- ・ スタッフ人数+氏名： 名

AP日本橋 搬入 / 搬出のご案内

東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント 6F
 TEL：03-3273-3109



- ① 荷物スペースのご利用は「事前申請」が必要となります。スタッフまでご相談ください。
- ② 人荷用エレベーターで6階までお越しください。
*荷物スペースに車を留め置きできるのは30分以内です。



企業展示 要項

1. 開催概要：デジタル抄録をご覧ください。
2. 展示会場：AP日本橋

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント 6F

3. 展示スケジュール

2024年4月12日（金）夕刻（17：30～21：00）搬入・装飾

2024年4月13日（土）終日 展示

2024年4月13日（土）終日展示、夕刻（17：30～18：30）撤去：搬出

4. 展示仕様

基礎小間 1小間あたり

サイズは間口 1,800mm×奥行 900mm×高さ 2,100mm

基礎小間に含まれるものは以下のとおりです。

- ① バックパネル(W1,800mm×H2,100mm)
- ②社名版(W900mm×H150mm)スミ1色
- ③展示机 (W1,800mm×D900mm×H700mm) 1台での準備。

※蛍光灯や電気配線工事・追加備品などは有料（出展企業様負担）となります。

参加者の皆様へ

- 1) 参加受付
場所：4月13日土曜日
時間：9：30～

- 2) 大会参加費
会員：5,000円
非会員：8,000円（オンライン参加のみ）

- 3) 参加証
当日、受付にお立ち寄りいただき、参加証をお受け取りください。

- 4) プログラム・抄録集
今回は、デジタル抄録集のみのご案内となります。

- 5) ランチョンセミナー
ランチョンセミナー：12：05～12：55 第1会場（大ホール）

- 6) 企業展示
大会期間中、協賛企業による機器展示等を行いますのでご覧ください。
場所：展示ブース
*参加企業様に関しましては、別途、展示要項をご確認ください。

- 7) クローク
各会場入り口付近、設置。
*自己管理にてお願い致します。

- 8) 総会
4月13日土曜日9：00～ 第2会場（小ホール）にて行います。

- 9) その他
お呼び出し：会場内のお呼び出しは、原則として行いません。
撮影：発表内容の写真撮影、録画、録音は禁止いたします。

【座長・演者のみなさま】

来場されましたら、必ず総合受付へお立ち寄りください。

・ご担当セッション開始 20 分前までに各会場前方座長席までお越しください。

・シンポジウムなどの依頼演題における進行、各演者の発表時間、

総合討論の有無等は座長一任といたしますが、所定時間内に終了するようご配慮ください。

・タイムテーブルに従い各セッションをお進めください。

【質問・発言者の方へ】

多くの参加者の活発な討論・発言を歓迎します。

質疑・コメントをされる方は、発表終了後、所属・氏名を述べて発言してください

【発表者（演者）へのご案内】

口演発表される方へ

・パワーポイントによるコンピュータ（以下、PC）発表のみとなります。講演に使用できるプロジェクターは 1 台（スクリーン 1 面）です。発表時は演者ご自身で演台に設置された PC にて操作をお願いします。スクリーンの比率は 16:9 ですが、4:3 でも投影可能です。

・発表データは Windows の PowerPoint のみとします。Mac 上のソフトウェアで作成された場合でも、Windows 互換のパワーポイントファイルに変換したデータをご用意下さい。ウイルスを含まぬようデータをチェックしておいてください。

・使用フォントは、特殊なものではなく、Windows および Mac に標準搭載のものをご使用下さい。

【発表データについて】

・現地にデータをお持ち込みの場合には、少なくともご発表の 30 分以上前の、セッションが開催されていない時間帯に、USB にて各会場のスライド係まで直接お持ち下さい。

・PC の切替時間が発表時間を圧迫しますので、PC の持ち込みは極力避けて下さい。やむを得ず PC を持ち込まれる場合には、HDMI または VGA (D-sub15 ピン) ケーブルに接続可能なコネクタをご用意ください。

【COI（利益相反）開示に関して】

・ご発表の際には COI に関するスライドを含めていただきます。

詳細については、学会ホームページの以下のリンクをご参照ください。

プログラム

第1回再生医療抗加齢学会 学術総会

AB会場
大ホール

C会場
小ホール

企業展示
展示室 1

9:00

社員総会開催

9:50~10:00 開会式 (大ホール)

10:00	<p>シンポジウム① 10:05~10:55 形成外科・美容医療における再生医療のイマと未来 演者：大慈 弥 裕之 座長：山田 秀和</p>	<p>シンポジウム② 10:05~10:55 歯科における歯周組織再生療法現在の現在 演者：築山 鉄平 座長：中島 孝哉</p>
11:00	<p>シンポジウム③ 11:00~11:50 再生医療インバウンド事業の夢と現実 演者：胡 燕 座長：森下 竜一</p>	<p>シンポジウム④ 11:00~11:50 脳梗塞における新規治療法開発の展望-幹細胞を中心に- 演者：島村 宗尚 座長：山下 徹</p>
12:00	<p>ランチョン① 12:05~12:55 インバウンド富裕層向け医療ツーリズム事業の課題と市場の発展について 演者：松本 陽太 座長：青木 晃</p>	
13:00	<p>シンポジウム⑤ 13:05~13:55 ALS患者に対する新たな幹細胞 (Muse細胞) を用いた治療法の開発 演者：山下 徹 座長：森下 竜一</p>	<p>シンポジウム⑥ 13:05~13:55 自身のステージ4の癌【悪性軟骨肉腫】寛解後の後遺症における幹細胞治療 治療報告と所属アーティストGACKTの幹細胞治療について。 演者：佐藤 雅侍 座長：大山 ナミ</p>
14:00	<p>シンポジウム⑦ 14:10~15:00 エクソソーム及び培養上清関連市場の現状と危険性について 演者：岩間 心平 座長：山田 秀和</p>	
15:00	<p>シンポジウム⑧ 15:10~16:00 再生医療を抗加齢医学に活かすための注意点 演者：森下 竜一 座長：山田 秀和</p>	<p>シンポジウム⑨ 15:10~16:00 動物幹動物再生医療等製品「ステムキュア®」の開発と臨床 演者：永原 俊治 佐藤 秀之 座長：村中 志朗</p>
16:00		
17:00	<p>シンポジウム⑩ 16:30~17:20 安全で高品質な再生医療を普及させるために 演者：渡辺 龍牙 座長：大山 ナミ</p>	

機器展示
その他展示

第1回再生医療抗加齢学会 学術総会 プログラム

第1会場(大ホール)2024年4月13日(土)

10:05～ 美容医療における再生医療の目指すもの
10:55

座長：山田 秀和 近畿大学医学部 客員教授

シンポジウム1

SY1-1 形成外科・美容医療における再生医療の「イマと未来」

発表者 大慈弥 裕之

所属 NPO法人 自由が丘アカデミー 代表理事
北里大学 形成外科・美容外科 非常勤講師

11:05～ トピックス：再生医療のインバウンド事業
11:50

座長：森下 竜一 大阪大学大学院 医学系研究科
臨床遺伝子治療学寄付講座 教授
一般社団法人再生医療抗加齢学会理事長

シンポジウム3

SY3-2 再生医療インバウンド事業の夢と現実

発表者 胡 燕

所属 医療法人誠心会 東京Rebornクリニック 理事
国際事業部責任者

ランチョンセミナー 第1会場 (大ホール)

12:05~12:55

共催：株式会社アリラ

タイトル：インバウンド富裕層向け医療ツーリズム事業 課題と市場の発展について

発表者：松本 陽太

所属：株式会社アリラ 代表取締役

座長：青木 晃

所属：医療法人 晃和会 ウェルエイジングクリニック南青山 理事長

第 1 会場(大ホール)2024 年4月 13 日(土)

13:05～ 再生医療の未来を拓く幹細胞研究の最前線-①
13:55

座長：森下 竜一 大阪大学大学院 医学系研究科
臨床遺伝子治療学寄付講座 教授
一般社団法人再生医療抗加齢学会理事長

シンポジウム 5

ALS患者に対する新たな幹細胞（Muse細胞）を用いた
SY5-3 治療法の開発

発表者 山下 徹

所属 岡山大学大学院 脳神経内科学 准教授

14:10～ エクソソームおよび市場の現場について
15:00

座長：山田 秀和 近畿大学医学部 客員教授

シンポジウム 7

SY7-4 エクソソーム及び培養上清関連市場の現状と危険性について

発表者 岩間 心平

所属 一般社団法人再生医療安全推進機構 調査主任

第 1 会場(大ホール)2024 年4月 13 日(土)

15:10～ 抗加齢医学的観点から再生医療を視る
16:00

座長：山田 秀和 近畿大学医学部 客員教授

シンポジウム 8

SY8-5 再生医療を抗加齢医学に活かすための注意点

発表者 森下 竜一

所属 大阪大学大学院 医学系研究科臨床遺伝子治療学寄付講座 教授
一般社団法人 再生医療抗加齢学会 理事長

16:30～ 再生医療ナショナルコンソーシアムの構築とこれから
17:20

座長：大山 ナミ 一般社団法人 再生医療福祉支援基金

シンポジウム 10

SY10-
6 安全で高品質な再生医療を普及させるために。

発表者 渡辺 龍冴

所属 株式会社ASメディカルサポート 営業部主任

第 2 会場(小ホール) 2024 年 4 月 13 日(土)

10:05～ 歯科領域における再生医療の取り組み
10:55

座長：中島 孝哉 中島こうやクリニック 理事長

シンポジウム 2

SY2-1 歯科における歯周組織再生療法の現在

発表者 築山 鉄平

所属 医療法人雄之会 つきやま歯科医院 総院長

11:00～ 再生医療の未来を拓く幹細胞研究の最前線-②
11:50

座長：山下 徹 岡山大学大学院 脳神経内科学 准教授

シンポジウム 4

SY4-2 脳梗塞における新規治療法開発の展望 -幹細胞を中心に

発表者 島村 宗尚

所属 大阪大学大学院 医学系研究科遺伝子幹細胞
再生治療学・寄附講座 教授

13:05～ 自己幹細胞を用いた再生治療と治験の現状
13:55

座長：大山 ナミ 一般社団法人 再生医療福祉支援基金

シンポジウム 6

SY6-3 自身のステージ4の癌【悪性軟骨肉腫】寛解後の後遺症における幹細胞治療治験報告と所属アーティストGACKTの幹細胞治療について

発表者 佐藤 雅侍

所属 株式会社GLOVE 代表取締役

15:10～ 獣医学領域における再生医療等製品の研究開発
16:00

座長：村中 志朗 公益社団法人日本獣医師会 顧問

シンポジウム 9

SY9-4 動物再生医療等製品「ステムキュア®」の開発と臨床

発表者 永原 俊治

所属 物産アニマルヘルス株式会社
ビジネスイノベーション本部新規事業部長
兼 生産本部 池田動物細胞医薬センター長

SY9-5 歯科における歯周組織再生療法の現在

発表者 佐藤 秀之

所属 物産アニマルヘルス株式会社 営業企画推進部

抄 録

形成外科・美容医療における再生医療の「イマと未来」

発表者

大慈弥 裕之

NPO法人自由が丘アカデミー 代表理事
北里大学形成外科・美容外科 非常勤講師

【略歴】



1980年 福岡大学医学部卒業、防衛医科大学校皮膚科 助手

1981年北里大学形成外科 研修医

1983年同助手

1996年福岡大学病院形成外科 助教授

2007年福岡大学医学部形成外科学講座 主任教授

2015年学校法人福岡大学 副学長

2021年北里大学形成外科・美容外科 客員教授（2023年より非常勤講師）NPO法人自由が丘アカデミー 代表理事 現在に至る

形成外科・美容医療の基礎は創傷治癒であり、創傷治癒は組織再生か瘢痕修復によってなされる。皮膚の美容医療は組織再生を狙っておこなわれるが、時に瘢痕治癒することがあり、トラブルとなる。また、形成外科の領域では最も早くから再生医療を導入している。1980年代からわが国でも臨床応用されはじめた自家培養表皮である。2007年には日本初の再生医療製品「ジェイス」が承認され、広範囲熱傷や先天性巨大色素性母斑の治療に応用されている。現在、美容医療の領域では脂肪幹細胞をはじめ、培養軟骨、真皮線維芽細胞、PRPなど多くの再生医療が、乳房増大（豊胸）や隆鼻、増毛、皮膚の若返りを目的におこなわれている。しかし、これらの安全性と有効性についてはまだデータが少なく、中には後遺症が問題となっているものもある。本講演では、美容医療における再生医療の応用と未来に向けた課題への取り組みについて述べる。

【シンポジウム SY3-2】

2024年4月13日(土) 11:00~11:50
第1会場

再生医療インバウンド事業の夢と現実

発表者

胡 燕

医療法人誠心会 東京Rebornクリニック 理事
国際事業部責任者

現在、首都圏を中心としてインバウンドを目的とした再生医療（幹細胞）クリニックが増加傾向である。加速する実態について、インバウンド事業について、COVID-19前後を比較検討しながら、わかりやすく解説いたします。

ALS患者に対する新たな幹細胞（Muse細胞）を用いた 治療法の開発

発表者

山下 徹

岡山大学大学院 脳神経内科学 准教授

【略歴】

2001年3月 岡山大学医学部医学科卒業

2007年3月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程卒業

【職歴】

2001年4月 岡山大学医学部附属病院神経内科

2002年5月 国立岡山医療センター内科

2003年4月 慶應義塾大学医学部生理学教室共同研究員

2006年4月 岡山大学医学部附属病院神経内科医員

2009年7月 米国コロンビア大学病理細胞生物学部門博士研究員

2012年9月 岡山大学病院神経内科助教

2013年9月 岡山大学病院神経内科講師

2015年4月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経内科学 講師

2020年11月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経内科学 准教授～現在に至る



筋萎縮性側索硬化症（ALS）は、進行性の運動ニューロン喪失を特徴とする致死的な神経変性疾患であるが、現在 Muse 細胞による治療の可能性が注目されている。この多能性幹細胞は様々な組織に存在し、スフィンゴシン-1-リン酸（S1P）に誘導されて損傷部位に遊走するなどの特徴を持つことが知られている。G93A SOD1 トランスジェニックマウス（ALS マウス）にヒト Muse 細胞を経静脈的投与したところ、Muse 細胞は腰部脊髄に遊走したが、間葉系幹細胞は同様の遊走を認めなかった。また Muse 細胞投与群では、対照群と比較して、運動機能、残存する運動ニューロン数、筋萎縮上に有意な改善が見られ、Muse 細胞が運動ニューロンに対する神経保護効果を持つことが示された。上述の動物モデルを用いた前臨床研究の結果に基づき、ALS 患者を対象に、Muse 細胞由来製品 CL2020 の反復静脈内注射の安全性と効果を評価する第Ⅱ相臨床試験が行われた。この試験では、5 人の ALS 患者に CL2020 を毎月 6 回投与した。主要評価項目は安全性と忍容性で、副次的評価項目は改訂筋萎縮性側索硬化症機能評価尺度（ALSFRS-R）スコアの変化を評価した。主要評価項目である Muse 細胞投与開始後 12 ヶ月までの安全性については、臨床試験を進めるうえで問題となる重大な副作用は認めなかった。

一方、副次評価項目である有効性に関しては、Muse 細胞製剤投与前は ALSFRS-R スコアが 1 月あたり平均 0.47 ポイント低下していたのが、Muse 細胞投与後は平均 0.25 ポイントの低下にとどまるなど症

状の進行スピードを緩やかにする傾向を認めた。また血清 IL-6、TNF- α 値や髄液中の CHIT-1 値、ニューロフィラメント軽鎖 (NfL) 値は治療後 6 ヶ月まで上昇したが、血清 S1P 値は 12 ヶ月間持続的に低下した。今回の治験結果から CL2020 の良好な安全性プロファイルが確認された。

今後、より多くの ALS 患者を対象とした二重盲検試験を実施し、その有効性を確認する必要があると考える。本講演では、ALS 患者に対する新規幹細胞 (Muse 細胞) 療法の最近の進展を紹介し、近い将来、この療法をどのように発展させていくかについて議論したい。

【シンポジウム SY7-4】

2024 年 4 月 13 日(土) 14:10~15:00
第 1 会場

エクソソーム及び培養上清関連市場の現状と危険性について

発表者

岩間 心平

一般社団法人再生医療安全推進機構 調査主任

現在のエクソソーム及び上清液の製造販売の現場と、販売ルートから医療行為へ至るまでのプロセスの検証。エクソソームの取り扱いについて各学会が警鐘を鳴らす中、再生医療クリニックが行う再生医療治療の現状と危険性を解説します。

再生医療を抗加齢医学に活かすための注意点

発表者

森下 竜一

大阪大学大学院 医学系研究科 臨床遺伝子治療学寄附講座 教授

【略歴】

- 1987年3月 大阪大学医学部卒業
- 1991年3月 大阪大学大学院医学系研究科 老年病講座修了
- 1991年8月 スタンフォード大学留学、循環器科研究員
- 1992年7月 アメリカ循環器学会特別研究員
- 1994年4月 スタンフォード大学循環器科客員講師
- 1995年4月 日本学術振興会特別研究員
- 1998年10月 大阪大学医学部大学院医学系研究科遺伝子治療学兼任加齢医学 助教授
- 2003年3月 大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学寄附講座教授



【公職等】

- 再生医療抗加齢学会理事長、日本遺伝子細胞治療学会理事長、日本抗加齢医学会副理事長他
- 2013年1月 内閣府規制改革会議委員、健康医療戦略本部戦略参与
- 2013年4月 大阪府市統合本部医療戦略会議参与
- 2016年6月 大阪府 2025年日本万博基本構想委員
- 2016年9月 内閣府規制改革推進会議委員 等を歴任
- 大阪府・市特別顧問、大阪・関西万博総合プロデューサー

自由診療における再生医療を利用した抗加齢医学は、幅広く実施されている。特に、近年間葉系幹細胞（MSC）は各種疾患で臨床試験において炎症を制御することが報告され、様々な治療への応用が期待されている。特に抗加齢医学の分野では、皮膚などに対するアンチエイジング効果が期待されることから応用が行われている。現在の自家幹細胞を用いた治療は、再生医療等安全確保法に基づいて実施されており、法律の順守は極めて重要である。一方で、他家幹細胞治療は、自由診療で再生医療等安全確保法で許可されたものはない。一方、培養上清やエクソソームは、現在は法律の枠内ではなく、グレーゾーンで自由に実施可能であるが、当然ながら薬機法や医療法などの関連法に違反しないように実施する必要がある。特に、静脈投与に関しては医行為を含むため、提供者者においては薬機法違反の可能性、実施クリニックにおいては医療法・医師法で違反する可能性があり、推奨されない。今後抗加齢医学における再生医療の応用は、期待されており、関連法規を順守しながら実施しなければならない。本講演では再生医療の現状と、行う上での注意点について概説したい。

【ランチョン企業セミナー】

2024年4月13日(土) 12:05~12:55
第1会場

インバウンド富裕層向け医療ツーリズム事業の課題と

市場の発展について

発表者

松本 陽太

株式会社アリラ 代表取締役

近年海外から日本へのプライベートジェット離発着数が一ヶ月で600を超えるようになり、超富裕層の訪日旅行事業の盛り上がりがとまらない。そんな中、各旅行事業者がこの好機を掴むべく医療ツーリズムの取り組みに力を入れているが、過去5年間の富裕層ツーリズムの傾向から今後の課題点を見出し、医療×旅行について、本講演にてその可能性について解説します。

【シンポジウム SY10-6】

2024年4月13日(土) 16:30~17:20
第1会場

安全で高品質な再生医療を普及させるために

発表者

渡辺 龍牙

株式会社ASメディカルサポート 営業部主任

人類の発展とともに不老長寿は人々の永遠のテーマであるが故に、いつの時代も注目を集める「再生医療」。現在、医療の現場では新しい医療を導入するにあたり、特段、導入後のランニングが大きな課題点となるが、本セミナーでは、弊社が取り組む幹細胞を使用した提携医療機関様との症例について、事業紹介を交え解説いたします。

歯科における歯周組織再生療法の現在

発表者

築山 鉄平

医療法人雄之会 つきやま歯科医院 総院長

【略歴】

2001年 九州大学歯学部 卒業
2001~2004年 佐賀医科大学（現佐賀大学医学部）歯科口腔外科 勤務
2004~2006年 東京都中央区日本橋 矢澤歯科医院 勤務
2006~2009年 タフツ大学歯学部歯周科post-graduate program 修了
2009年 アメリカ歯周病学会認定 歯周病インプラント学専門医 取得
(Diplomate, American Board of Periodontology)
2010年 アメリカ歯科修士取得 (Master of Science)
2009~2010年 タフツ大学歯学部審美補綴 フェロー
2013~ 福岡歯科大学予防歯科学講座 非常勤講師
2014年~2017年 タフツ大学歯周病学講座 非常勤臨床助教授
2017年~ ヨーロッパインプラント学会認定医
2011年~ 医療法人雄之会 つきやま歯科医院

歯周病によって失われた歯周組織における再生治療は最も難しい再生組織の一つとしても知られている。歯周組織は歯肉、歯槽骨、歯根膜、セメント質の4種類の組織から構成されるため、単一組織の細胞の再生治療とは異なり4つの組織のそれぞれの治癒スピードをコーディネートするような治癒機転を確立する必要があるからである。歯周組織再生の再生療法の歴史は1990年代にスウェーデンのイエテボリ大学の臨床研究から開発されGuided Tissue Regeneration（歯周組織再生誘導法）という上皮細胞の陥入を物理的にブロックして他の歯周組織が治癒するまでの時間を稼ぐ物理的再生療法が主流であったが大変高度な技術と材料が必要で予知性も大変限られたものがあった。その欠点を補うべく成長因子を主体とする生物学的な歯周組織再生療法の研究開発が現在進んでいる。

本講演では歯周組織再生治療の歴史と変遷、現在と今後の展望を総覧できたらと考えている。

【シンポジウム SY4-2】

2024年4月13日(土) 11:00~11:50
第2会場

脳梗塞における新規治療法開発の展望 -幹細胞を中心に-

発表者

島村 宗尚

大阪大学大学院 医学系研究科 遺伝子幹細胞再生治療学・寄附講座教授

【略歴】

- 1997年 熊本大学医学部 卒業
- 1997年 熊本大学神経内科 研修医・医員
- 2001年 大阪大学遺伝子治療学 大学院・医学博士
- 2005年 東京大学先端臨床医学開発講座・助手
- 2007年 コーネル大学医学部神経生物学 Research Fellow
- 2009年 大阪大学老年腎臓内科学 特任助教
- 2010年 大阪大学健康発達医学 寄附講座准教授
- 2014年 大阪大学神経内科学 併任
- 2023年 大阪大学遺伝子幹細胞再生治療学 寄附講座教授 現在に至る



脳梗塞はいまだ要介護の原因となる主疾患であり、新規治療法の開発が必要とされているが、ほとんどの神経保護薬の開発は失敗に終わっている。しかし、近年、脳梗塞急性期の臨床試験において、抗TLR4アプタマーを用いたDAMPs/TLR4シグナル抑制による治療効果が注目されており、我々も新規に開発した抗TLRペプチドによる治療効果を脳梗塞モデルで見いだしている。また、間葉系幹細胞(MSC)にも抗TLRシグナル抑制作用があり、さらに神経・髄鞘の再生を促進する作用があることから、多くの臨床試験がなされてきた。現時点では治療反応性にばらつきが多く、主要評価項目は未達であるが、治療反応性の良い患者では、移植直後の血漿中細胞外小胞数が増加していることが報告されている(Stroke 2022)。また、高齢者の脂肪由来幹細胞(ADSC)の上清では、特に免疫調整・神経修復にとって重要な肝細胞増殖因子(HGF)の発現が低下しており、HGF刺激により分化能が回復することが報告されており(Cells 2022)、治療反応性の原因の一つである可能性がある。

本講演では脳梗塞における新規治療法開発の展望について概説したい。

【シンポジウム SY6-3】

2024年4月13日(土) 13:05~13:55
第2会場

自身のステージ4の癌【悪性軟骨肉腫】寛解後の後遺症における
幹細胞治療治験報告と

所属アーティストGACKTの幹細胞治療について。

発表者

佐藤 雅侍

(株) GLOVE代表取締役会長 (GACKT芸能音楽事務所)

【略歴】

1990年 オーストラリア連邦政府・第一次産業エネルギー省・食肉畜産庁職員～

オーストラリア大使館ならびに札幌領事館、仙台領事館の商務官

オージービーフ北アジア地区【日本・韓国】代表

2004年 癌により退任。

2005年 総合商社双日子会社代表取締役を務める。

2010年 GACKTの芸能音楽事務所の会長CEO.(株)GLOVE代表取締役 (株)ファンタス代表取締役

【シンポジウム SY9-4】

2024年4月13日(土) 15:10~16:00
第2会場

動物再生医療等製品「ステムキュア®」の開発と臨床

発表者①

永原 俊治

発表者②

佐藤 秀之

開発パート：物産アニマルヘルス株式会社ビジネスイノベーション本部
新規事業部長 池田動物細胞医薬センター センター長 永原 俊治
臨床パート：物産アニマルヘルス株式会社 営業企画推進部 佐藤 秀之

ステムキュア®は世界で初めて製造販売承認を得た動物用再生医療等製品であり、市販後臨床試験を実施中です。本講演では、この挑戦に取り組んだ製薬企業の思いと承認までの道のり、またステムキュアが実現したことをご紹介します。

協賛

ご協力ありがとうございます。

本会の開催にあたりまして、各企業様よりご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

株式会社 AS メディカルサポート

一般社団法人再生医療安全推進機構

一般社団法人再生医療福祉支援基金

NMEC Properties LLC

(敬称略、順不同)

再生医療抗加齢学会 第1回学術総会

プログラム・抄録集

発行日 2024年3月末日

発行人 第1回再生医療抗加齢学会 学術総会 大会長 森下 竜一